

製品中の石綿含有分析（定性分析・定量分析）の流れ

1. サンプル採取

経験豊富な作業者が石綿の飛散防止に十分注意して、サンプル採取を行います。お客様で採取したサンプルを持ち込んで頂いても大丈夫です（サンプルの収集にも伺います）。



2. サンプルの分析（定性分析）

（顕微鏡法・X線回折分析法）

公定法に基づき、（公社）日本作業環境測定協会認定の分析者等が高精度の分析を行います。規制対象の石綿6種類（クリソタイル・アモサイト・クロシドライト・トレモライト / アクチノライト・アンソフィライト）について含有の有無を判定します。



3. 定性分析結果（速報値）の提供

※定性分析結果が確定次第、「石綿の含有の有無」を分析依頼者にお伝えします。

4. 定量分析（必要に応じて）

定性分析で「石綿含有」と判断された建材については必要に応じて定量分析を行います。飛散性の高い建材（レベル1・レベル2建材）は定量分析結果まで要求される場合が多いです。



5. 分析結果報告書提出